

関中学校だよい

目指す学校像 一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校



関中学校HPにアクセス

第26号

令和8年2月2日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

地域、家庭とともに歩む学校 教職員が生きがいを持って働く学校

3年生は私立高校の入試が一段落し、今は県立高校の受験にむけて学習を進めています。1, 2年生も、次の学年を意識して、勉強や諸活動に落ち着いて取り組んでいます。今年度の学校アンケートの結果より、家庭学習の取り組みに課題があることが分かりました。そこで、家庭での学習のきっかけとなるように、2月から自習タイム、質問タイムを実施していきます。AI型学習教材キュビナ等の活用も行いながら、主体的な学習習慣がつくように取り組んでいきます。また、学年末テスト前の1週間にメディアコントロールに取り組みます。家庭と連携してメディアの利用ルール、規則正しい生活習慣の確立を目指していきたいと思っていますので、ご理解、ご協力お願いします。下記に自習タイムの内容を載せました。2学期の自習タイムの振り返りでは、93%の生徒が肯定的にとらえていたことから3学期も継続して行います。教科担当の先生に質問することもできますので、みんなで落ち着いた雰囲気で学習に取り組みましょう。

家庭学習を成功させるポイント！！

・生徒のみなさんへ

家庭学習で大切なのは、「長い時間」よりも「集中すること」「続けること」です。毎日決まった時間に、少しでも机に向かうことで、学ぶ力は確実に伸びていきます。まずは授業や復習を大切にし、わからないことをそのままにせず、考える習慣を身につけましょう。計画を立てて学習を進められるといいと思います。計画通りにいかない日があっても大丈夫です。あきらめずに続けることが、自分の力になります。

・保護者のみなさまへ

お子様の家庭学習の定着には、結果よりも過程を認める声かけが大きな力になります。「何時間やったか」「点数がどうだったか」だけでなく、「机に向かったこと」「続けようとした姿勢」を温かく見守っていただければと思います。ご家庭での何気ない励ましが、お子さまの学びへの自信と意欲につながります。学校と家庭が連携しながら、お子さまの成長を支えていければと思いますので、よろしくお願ひします。

“自習タイム”始まります！！

学年末テストまであと2週間ほどになりました。テストに向けて勉強を始めていきましょう。場所は各教室内。帰りの会終了後、全員が参加します。自分で学習してもよい!友達と問題を出し合ってもよい!教科の先生は各教室を回るので、先生に質問してもよい!みんなで勉強しよう!!

※あくまで自習タイムは勉強するきっかけなので、ちゃんと家でも学習してください。

テスト2週間前: 2月 2日(月) 短縮に変更 15:20~15:50(30分間自習タイム)

6日(金) 短縮に変更 15:20~15:50(30分間自習タイム)

テスト1週間前: 9日(月) 短縮に変更 15:20~15:50(30分間自習タイム)

16日(月) 短縮に変更 15:20~15:50(30分間自習タイム) ★質問タイム

17日(火) 短縮 15:05~15:35(30分間自習タイム) ★質問タイム

期末テスト: 2月 18日(水) 19日(木) 20日(金)

Welcome to “質問タイム”

学年末テストに向けて、“自習タイム”的あとに“質問タイム”を下記の日程で行います。

“質問タイム”は希望者のみです。

※今回も2回しか予定していません。計画的に利用してください。

開催日: 2月 16日(月) 15:50~16:20(30分間)

17日(火) 15:35~16:05(30分間)

場所: 多目的ホール



【質問タイムの目的】

・自習タイムだけでは理解しきれなかった人、個別でじっくり教えてほしい人、授業や家庭学習で分からぬ問題があるから教えてもらいたい人、教科担当の先生に解き方を見せてもらいたい人は積極的に参加し、理解を深めてテストに備える。

・家庭だけではなく放課後の時間を使い、集中して勉強する。

※事前の申し込みはなしにします。飛び込み参加でもOK。

ただし、参加の意図がある人はお家の方に声をかけるのを忘れず!!

中日新聞に關中学校の学び舎が紹介されました

中日新聞社より、学校だより、HPに掲載する許諾を得ています。(1月30日付記事)

hi.co.jp

知る 深める 生き抜く

学ぶ

街道!? 実は中庭

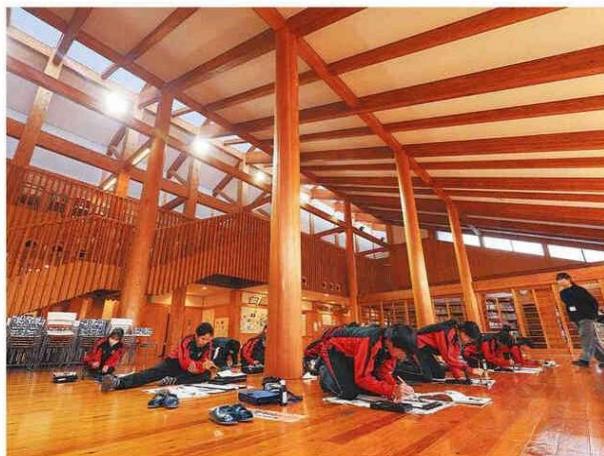
休憩時間に中庭で遊ぶ生徒たち。右側の屋根瓦には建築当時の生徒たちが影写されている。重慶龜山市の中庭で撮影された写真。



▪ 3 ▪

関中学校 (三重県龜山市)

保存地区の町並みイメージ



心安らぐ宿場の風情

樹齢100年 地元杉
木の香りが漂う吹き抜けの
多目的ホールも校舎同様に自
慢の一つ。柱、床の材料には
全て県産の杉を使用した。そ

ばり、中庭にはどんぐり
にいすが置かれる。「ここで、
他の学年の子ともしゃべれる
のが楽しい」。水谷有里さん
(3年)は笑みを浮かべる。
関中があるのは、旧東海道
の関宿があった場所の近く。
その一帯は国的重要伝統的建
造物群保存地区に指定され、
江戸後期から明治にかけて建
てられた家が200棟以上並
ぶ。校舎は2011年、耐震
強化を目的とした改築を機
に、関宿の町並みをイメージ
して造られた。

書道や音楽、広々と

県産の杉がふんだんに使われた多目的ホール



廊下でほっと一息

中庭に沿って曲がっている廊下。一角に板で囲われた休憩スペースがある

写真・文
森研人

郷土の歴史 愛着

開放的なだけでなく、生徒たちへのちょっとした気遣いもある校舎は「包み込むよう温かさがある」(3年・相山紋朱さん)。それでも落ち着くつて並び、どの教室からもすぐに出られる。そのまま中庭に出られる。その一方廊下には物陰に隠れておもしやべりできる休憩スペース

関中学校の校舎が完成してから、もうすぐ15年が経ちます。しかし、今でも木の香りがして、

新築のようにきれいです。2007年から関中学校校舎改築検討委員会が開かれ、住民とも何度も話し合いを重ねて現在の校舎となりました。当時の要望書には、「関宿の街並みに違和感のない外観にする、生徒同士が語らうことのできる中庭、集会ができる多目的ホールを作る」と書かれています。生徒たちは、この校舎で、木の温もりを感じながら仲間と交流し、落ち着いた学校生活を送っています。私は、この校舎が生徒たちの心の安定につながっていると感じています。このすばらしい環境で学べることに感謝して、今後も大切に使っていきたいと思います。